

## 令和元年度老健くぬぎ事業計画

- (1) 安定的経営基盤の確保（目標利用率の達成）  
 老健定員 100床 目標利用率 95% 要介護度入所 3.3 短期入所 3.0  
 通所定員 30人/日 目標利用率 85% 要介護度 2.3
- (2) 平成 31 年 1 月より移行した在宅強化型を安定的に維持する。そのための「在宅復帰・在宅療養支援機能指標」の 10 項目について、目標値達成に向けて、それぞれ担当部門が計画的に取り組む
- (3) 稼働率や在宅復帰率向上に関わる支援相談部門を中心に事務部門、サービス部門の情報集約ならびに事業所内外の連携を強化する。
- (4) より良いサービス提供のために、第三者評価を受審することでサービス内容を見直し、また健全な施設運営を行うため組織体制を整備する。
- (5) 通所リハビリテーションにおいて、関係者による定期的なカンファレンスを実施することで、質の高いリハビリテーションを提供できるよう取り組む。

サービス目標	重点事項	対応策
1 経営基盤の確保	・収入の確保と経費節減	1) 目標利用率 <u>【入所 95%】【通所 85%】</u> 2) 目標要介護度 <u>【入所(短期) 3.3】【通所 2.5】</u> 3) コスト意識を持った行動の徹底 4) 支援相談部門職員のスキルアップならびに体制確保
	【入所】 (1) 在宅強化型の安定的維持	1) 在宅復帰率の維持（30%以上） 2) 回転率の維持（1ヶ月の入退所者数 18 名以上） 3) 入所前後、退所前後の訪問指導の充実 4) 家族に向けた介護力の向上、介護保険制度や社会資源の情報提供を目的とする包括的な支援体制の構築 5) 在宅復帰を可能とするリハビリテーション機能の充実 6) 関係機関や他介護保険事業所と連携を図り、包括的に在宅生活への支援を実施
	(2) 業務の効率化	1) 支援相談部門・事務部門・サービス部門の 2 階ステーションでの情報集約を行う。 2) 2 階ステーションの窓口機能を強化し、なお事業所内外の連携をスムーズに行う。

【通所】	(1)利用率の達成 (2)業務の効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜日の利用者の増大</li> <li>1) 送迎ルートや適正な入浴時間などの見直しによる業務効率向上を実施</li> </ul>
2 利用者中心のサービスの提供	(1) チームケアの提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 多職種協働による質の高い個別ケアの提供</li> <li>2) 関係する事業所との情報共有や連携強化</li> </ul>
	(2) 適切な健康管理の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 医師、看護師による日常的な医療管理の充実</li> <li>3) 疾患に対する適切な検査、処置、投薬の実施</li> <li>4) 緊急時における、浴風会病院を主とした医療機関との迅速な対応</li> </ul>
	(3) 在宅生活支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の状況に応じた、サービスの提案(入所、短期入所、通所リハビリ)</li> </ul>
	(4) 第三者評価の受審	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者評価を受審することで、サービスの改善に取り組む</li> </ul>
【入所】	(1) 認知症ケアの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 都が開催する認知症介護に関する研修への積極的な受講</li> <li>2) その人らしい生活や残存機能を活かしたケアの実施</li> </ul>
【通所】	(2) 無料低額利用事業の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 低所得者・生計困難者への事業の周知</li> <li>2) 杉並区、福祉事務所などの関係機関との連携強化</li> </ul>
3 専門職の連携を活かした職場づくり	(1) 人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内外研修への参加促進</li> </ul>
	(2) 多職種協働による業務の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) カンファレンス等による横断的な連携体制強化</li> <li>2) 多職種協働によるチームケア提供体制の強化</li> </ul>
	(3) 労働安全衛生の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレスチェックを活用した高ストレスの予防</li> </ul>